

豊中市地域包括支援センター外部評価表

○仕様書[4] 業務内容 ア) 介護予防ケアマネジメント業務について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
1	介護予防ケアマネジメント業務（次のいずれかの視点を入れて取組んでください） ☒自立支援に資するプランになるよう、委託先の居宅介護支援事業所に対し、積極的なアプローチを実施している。 ☐高齢者の主体性を引き出すための工夫をしている。 ☐リハビリテーション専門職に意見を求めるなど、生活能力の改善・維持・悪化の可能性を見極める視点を培っている。 ☐潜在的対象者の把握について工夫している。	【目標と具体的な取組み内容】 目標： 研修会の開催や事例検討会への参加を通じて、介護支援専門員が自立支援を意識したケアプラン作成が作成できるよう、更には総合的な対応力向上につなげます。 内容： 研修会を開催し、事例検討会に積極的に参加することで、介護支援専門員に支援の視点や介入方法等の助言をおこなっています。 研修会では、経験年数の少ない介護支援専門員向けに予防プラン作成をテーマに開催しました。参加者からは「知識や技術を吸収できるいい機会」「他の介護支援専門員と交流できる貴重な時間」と肯定的な評価をいただきおり、参加者も前年度より増加しています。 【課題】 毎回一定の参加者はいるものの、新規の参加者はあまりいない状況が続いています。参加後アンケートでは企画内容は高評価であるため、周知がまだ不十分であると思われます。	【取組進捗状況内容】 介護支援専門員に向けた研修の開催や、介護支援専門員が行う勉強会等へ参加し、助言等を行われています。 【特に優れている点】 経験年数の少ない介護支援専門員に向けた取組みが行われています。 【課題】 研修や勉強会の成果を客観的に捉える内容の拡充が望まれます。

令和6年度 服部地域包括支援センター

		【改善の方策と次年度の取組み】 介護支援専門員にとってタイムリーな研修テーマを設定しつつ、きめ細やかな広報活動を行うことで新たな参加者に来ていただけるようにしていきます。	
--	--	---	--

令和6年度 服部地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 イ) 総合相談支援及び権利擁護業務について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 （地域包括支援センター運営協議会からの意見等）
2	総合相談支援及び権利擁護業務（次のいずれかの視点を入れて取組んでください） ☐ 自分らしく尊厳をもって生活することができるよう、自己決定・意思決定支援をしている。 ☐ 予防的アプローチと地域づくりに取組んでいる。 ☒ <u>職種の専門性を活かしたチームアプローチを実施している。</u> ☐ 多機関と連携した重層的支援体制の構築に向けた取組み	【目標と具体的な取組み内容】 目標： 専門職の強みを活かした相談対応ができるようにします。 内容： 相談者のニーズに幅広く対応できるように複数の専門職で相談対応しています。複数の職種が相談場面に同席することで、複雑な課題にも総合的かつ素早く対応できています。また専門職側も協働することで、気持ちに余裕を持つことができ、より丁寧な相談対応につなげています。 【課題】 3職種だけでは対応困難な事例も増える中、いかに速やかに重層的な支援につなげていくかが課題かと思います。	【取組進捗状況内容】 複数職種が、相談に関与することによって、速やかな対応につなげられるよう心がけられています。 【特に優れている点】 複数職種による訪問を行う事によって、多角的な視点での取組みを行われています。 【課題】 重層的支援を必要とする対象者が増える中、速やかに対応できる体制の構築に期待します。

令和6年度 服部地域包括支援センター

	を実施している。	【改善の方策と次年度の取組み】 主任介護支援専門員の確保、育成に努めていきます。	
--	----------	---	--

令和6年度 服部地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
3	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（次のいずれかの視点を入れて取組んでください） ☐介護支援専門員等への個別ケアマネジメント支援において、地域包括支援センターが代わりに行うのではなく、介護支援専門員がより良い判断に到達できるよう助言等の支援している。 ☒地域アセスメントを実施し、<u>地域の実情に応じた取組みを実施している。</u>	【目標と具体的な取組み内容】 目標： 顔の見える関係作り意識して地域のネットワークを構築します。 内容： 高齢者実務者会議の開催に際し校区毎の担当者を複数名配置し継続担当しています。今年度は全ての会議を集合形式で実施しました。圏域内に新しい事業所が開設された際は訪問をおこなっています。校区の担当者あてに民生委員や校区福祉委員から直接相談が入ることも増えており、顔の見える関係は定着してきていると感じています。また会議に新規設立の事業所も参加することも増えています。 【課題】 校区毎の地域課題やニーズをふまえた取組みを実施していますが、付け加えて連続性を持たせた取組みを行っていきたいと思います。	【取組進捗状況内容】 校区毎の民生委員・福祉委員・医師・薬剤師・事業所等の参加による会議が開催されています。 【特に優れている点】 校区毎に担当者を配置し、地域ニーズや課題の把握に取り組まれています。 【課題】 地域課題に対する取組みの評価見直しを拡充し、効果的な展開につなげていかれる事を期待します。

令和6年度 服部地域包括支援センター

		【改善の方策と次年度の取組み】 アンケート調査結果を踏まえて当該年度だけではなく次年度以降のテーマも意識して高齢者実務者会議の企画をおこなっていきます。	
--	--	--	--

令和6年度 服部地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 エ) 一般介護予防事業を推進する取組みについて記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 （地域包括支援センター運営協議会からの意見等）
4	一般介護予防事業を推進する取組み（次のいずれかの視点を入れて取組んでください） <u>☑地域の通いの場づくりにおいて、地域及びグループの特性に応じた活動を、創意工夫しながら支援している。また地域で通いの場の普及啓発に取り組んでいる。</u>	【目標と具体的な取組み内容】 目標： 通いの場のない地域（原田校区）での新しいグループを立ち上げます。 内容： グループ立ち上げに向けて近隣住宅へのポスティングや診療所、薬局、郵便局等への訪問、民生委員や校区福祉委員の集まりに出向き説明をおこなったうえでパワーアップ体操の体験会をおこない、新しいグループを立ち上げることができました。	【取組進捗状況内容】 通いの場空白地域に対するアプローチで、新規グループの立ち上げにつながられています。 【特に優れている点】 地域住民の協力を得ながら、通いの場の継続につながられた事例もあります。 【課題】
	□多様な地域活動や通いの場等と連携し、高齢者の社会参加促進のための地域資源の情報収集及び共有を行い、地域の介	【課題】 通いの場に地域的な偏在が残っており、拡充していくことが課題と考えます。	圏域内の通いの場の分布を踏まえ、効果的な活動展開につなげていかれる事に期待します。

令和6年度 服部地域包括支援センター

	護予防ネットワークの構築を推進している。	【改善の方策と次年度の取組み】 安定した活動ができるように、継続して活動支援をおこないます。	
--	----------------------	--	--

令和6年度 服部地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 オ) 認知症地域支援・ケア向上事業について特に力を入れて取組んだことを1つ記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 （地域包括支援センター運営協議会からの意見等）
5	認知症地域支援・ケア向上事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください） □認知症支援に関する個別事例において、嘱託医、初期集中支援チーム、疾患センター等の専門機関に相談する必要性を判断し、必要時相談できる体制を整えている。 <u>☑地域の実情に応じた方法により、認知症の人とその家族が参加する場で、本人の意欲向上と家族の介護負担感の軽減、認知症の人の在宅生活の安定を推進している。</u>	【目標と具体的な取組み内容】 目標： 認知症の方やその家族が安心して過ごせる場所を地域につくっていきます。 内容： さわ病院（認知症疾患医療センター、精神科デイケア）と一緒にオレンジカフェの開催をしました。この地域でのオレンジカフェがなかったため、日頃参加が難しい当事者、家族に参加いただいた他、作業療法士や精神保健福祉士の参加により幅広い相談に対応できるようになりました。他の地域のオレンジカフェでも開催回数を重ねることで認知度が高まり、参加者が増加傾向にあるため、継続していくことで確実に地域の資源として機能していけると考えています。オレンジカフェの参加を契機に地域包括支援センターへの相談につながった事例もあり、目標は概ね達成していると考えます。 【課題】 継続した周知活動により少しずつ地域でのオレンジカフェの認知度が高まっていますが、新規の利用者がなかなか増えていない状況が続いています。	【取組進捗状況内容】 医療・福祉の多職種の参加で、幅広い相談等にも対応できるよう取り組まれています。 【特に優れている点】 作業療法士や精神保健福祉士の参加によって、専門的な知識や相談等の対応が行われています。 【課題】 認知症当事者や家族、地域住民やボランティア等の、参加拡充に期待します。

令和6年度 服部地域包括支援センター

		【改善の方策と次年度の取組み】 法人内の関連部門への情報発信と合わせて地域包括支援センターが開催、参加する各種事業で専門職以外にも、民生委員や校区福祉委員の方などに広報活動をおこなっていく予定です。	
--	--	---	--